

神聖（山本本家）

山本本家は、1677 年に山本源兵衛（生没年不詳）によって創業され、純粹でまろやかな水が湧き出る古井戸のすぐそばに建てられた。井戸の名前は「白菊の水」を意味する白菊井であり、伏見七大名水の一つである。

鳥羽伏見の戦い（1868 年 1 月）で、山本本家蔵元は被災したが、同じ年に再建され、以来ずっと営業を続けている。長年にわたり、蔵元は、伝統的な風味を保ちつつ現代の料理と一緒に楽しめる日本酒のクリエイターとして知られている。

現在、11 代目の当主が経営している山本本家は、京都の伝統的な料理と相性の良い美味しい日本酒を数多く生産している。抹茶の日本酒さえも製造している。150 年の歴史を持つ酒蔵の 1 つにある居酒屋、鳥せい本店では、白菊井の井戸水を使った日本料理を提供している。メニューには、人気の高い焼き鳥とタンクから注がれる新鮮な原酒などもある。